

【プログラムⅡ-⑤-1】






テーマ 学校や地域とのかかわり

※このプログラムはⅡ-⑤-2と一緒に取り組むことをおすすめします。

プログラム 子どもとともに地域で自然と遊ぼう

ねらい 自分が子どもの頃にした自然体験や、子どもにさせたい自然体験について話し合うことを通して、子どもの成長にどのような自然体験が必要かを考える。

<展開(60分)>

時間	展開(進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・リレー自己紹介 ・手遊び歌 3 「3つの約束」の確認	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div>
展開 (1) 20分	4 子どもに自然体験をさせることのよさについて考える。 ① ラベルに記入する  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 子どもに自然体験をさせることのよさについて考え、付箋に記入しましょう。 </div> ② ラベルワークを行い、グループで話し合う <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 付箋に書いたことを一人ずつ説明しながら用紙に貼り付けていきましょう。同じものがあたら、近くに貼り付けて分類しましょう。 </div>  ③ 全体で話し合う	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ1(ラベルワーク)> 子どもに自然体験をさせることは、どのようなよさがあるでしょうか。 </div> <p>例：「道具の使い方を覚える」 「家族との絆を深める」 「動植物を大切にする」など</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が子どもの頃に体験したことを思いだし、その自然体験が心に残っている理由や、その体験を通してどのようなことを学んだかについて話し合ってもよい。
展開 (2) 20分	5 子どもにさせたい自然体験について考える。 ① ワーク2に記入する  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 子どもにさせたい自然体験をワークに記入し、その理由も考えましょう。 </div> ② グループで話し合う <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> グループで子どもにさせたい自然体験について話し合いましょう。後で、どのような話し合いがなされたか発表してもらうので、発表する人を決めておきましょう。 </div>  ③ 全体で話し合う	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ2(話し合い)> 子どもにさせたい自然体験について考え、その理由を話し合いましょう。 </div> <p>例：「昆虫を採って育てさせたい」 「野菜を育てて収穫し、料理をさせたい」 「川や海で遊ばせたい」など</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもにさせたい理由や、その体験のよさについて話してもらう。 グループでの話し合いの概要を発表し、全体で共有する。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 最後に、「びっくりまつぼっくり」という絵本を読みます。お子さんの成長のためにも、親子一緒に自然体験をおこなっていきけるといいですね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本「びっくりまつぼっくり」(多田多恵子文、堀川理万子絵、福音館書店)の読み聞かせを聞き、子どもと自然体験をすることへの意欲をもたせる。 今日の学習の感想を書かせる。